

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名 職柄 屋主

氏名

年 月 日生

164-11

二、所屬 團長 部隊名

師團 第... 旅 第... 隊

三、戰死者役年 奉 役種 現 役 兵種 步兵 死亡前官等 陸軍 少尉 任官 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所

昭和 年 月 日 時 分 於 某 處

五、戰死現認ノ程度

死体確認

六、遺骨歸還ノ有無

不詳

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

敵機が陣地前を飛過し、近接して当日、朝、砲撃

八、死亡區分 戰死 事由 被弾 昭和 年 月 日

九、其他 特種死 於 戰死者 遺體 整理 定 又 不明 自 立 派 下 上 陸 年 月 日 及 上 陸 地

宗 親 族 ノ 現 在 所

戰死者下ノ親類 父

氏名

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者任所

戰死者外前保

所屬部隊名

旅 第... 隊 兵種 步兵 官等 陸軍 少尉

氏名

市町村立證明所

前記 昭和 年 月 日

死亡證明書

所屬部隊	部別名	地
死因	死因	死因
氏名	氏名	氏名
本籍	本籍	本籍
現任	現任	現任
死亡年月日	死亡年月日	死亡年月日
死亡場所	死亡場所	死亡場所
死亡原因	死亡原因	死亡原因
其他事項	其他事項	其他事項

右證明致

昭和二十五年五月六日

證明書
 本局
 現任
 所屬部隊
 氏名
 結成時
 隊長
 小隊長

13-10

歐死者證明書

64-10

故陸軍一等兵

昭和九年八月廿四日西都三都隊八八號
 昭和九年八月廿四日西都三都隊八八號
 廿二日字記述ヲ出港同年九月廿一日ハ一連ノ
 米陸本艦ヲ攻撃シ敵ノ砲火能ク掃蕩スルニ
 故ニ休二時迄ヲ要シ、同日廿四日ハ大兵被
 傷院ニ入院同年十月廿日退院シテ安堵支那
 返成ニシテ昭和九年十月十日ハ西都三都隊
 情報部報告同年十一月十日ハ一連ノ
 一隊兵共トシテ三行ノ米艦ヲ襲撃
 シ、敵ノ砲火ヲ強ク受テ、敵ノ砲火能ク掃蕩
 シ、敵ノ砲火能ク掃蕩シ、敵ノ砲火能ク掃蕩

在船中死亡

證明

十四日西都三都隊

陸軍一等兵

昭和九年九月廿三日

陸軍工廠研究記録

110

元六惣誌(惣誌)證明書

本籍地

所屬部隊

一 死亡年月日時

昭和三年二月十七日七時。分

二 死亡場所

比島北野山ハルノ木

三 死亡原因

射撃死

四 傷(通名)

右胸一ヤ

五 遺体(通名)

十

六 死亡場所。状況

比島北野山ハルノ木

右惣誌(惣誌)

昭和三年四月十日

隊員名簿

死亡現認證明書

乳紙上注意 一、本證明書は三欄作製する。一、死亡者たる階級及び死亡前日現認所病名、顔面は記載し、時々は病名を記載する。二、死亡の場所、病名、死因は記載し、現認年月日、加添等由欄は詳細に記載する。三、證明書は、現認者氏名、職に捺印する。	死亡年月日 昭和二十一年二月一日	死亡原因 陸軍 上士 兵	死亡場所 豫山	死亡区分 戦病死	死亡年月日時 昭和二十一年二月一日	
	姓名 〃	階級 上士 兵	傷病名 急性肺炎	現認所 石 日	戦病死	死亡年月日時 昭和二十一年二月一日
	事由 〃	階級氏名 〃	現認所 〃	本籍地 〃	所属部隊 〃	死亡年月日時 昭和二十一年二月一日

夕云ノク州 米ノ中ニ於テ其ノ折角ニ於テ
脚地ニ於テ

右ノ通り證明ナシ (昭和二十一年 月 日)

男

状況不明者の資料届

本籍地

所屬部隊 海軍進駐基地第一大隊

通稱名 威才二八四九部隊

一等兵

昭和二十年二月十三日ダンバリツに攻防戦にて砲弾破片

腹部貫通にて戦死す

遺骨遺品なし

威才二八四九部隊

伍長

死歿確認書

一 籍地

[Redacted]

二 死歿者 官等級 氏名

陸軍歩兵少尉 勲三等

生年月日

昭和九年四月廿

三 死歿場所 要否

北部呂宋島「十」胸骨貫通銃創死

四 死歿時 所屬部隊 氏名

第10混成旅団 第三四部隊 [Redacted] 隊

五 死歿年月日

昭和二十年二月十三日午後一時

右之通、[Redacted] 戦死 已奉命確認

昭和二十三年九月十六日

一 籍地

[Redacted]

陸軍少佐

扶助給要

月

死因不明(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

遺失(遺失)時

事實(現認)證明書

本籍地
現住地

所屬部隊
區在部隊名
通稱號名

官等級氏名(死亡前)

右の者昭和貳拾年貳月拾五日午初六時五分ルソ島
ヲク要山嶽に於て戰死(別掲名)したことを證明する
昭和貳拾年 四月拾日

所屬部隊
現住地
死亡者との關係

(番)職官等級氏名陸軍上等兵

本籍地は死七當時の状況及遺骨の状況等を詳細に記入し別紙として添付する

13-12

死亡當時状況

昭和十一年一月二十日、敵方第一師団、陸軍中隊 [] 司令、香取、八道、一ノノ、山本

新野、地、真、二、兵、員、兵、隊、及、糧、食、輸、送、隊、等、の、兵、隊、中、隊、一、行、動、進、行、中、

中、隊、を、優、秀、と、し、兵、隊、長、官、二、十、名、部、隊、本、部、前、に、果、合、入、し、前、に、命、令、を、下、し、

[] 兵、長、の、選、拔、を、し、つ、つ、と、戦、線、敵、前、隊、隊、を、敵、軍、の、進、路、阻、止、に、努、め、切、込、り、

敵、軍、の、二、月、三、日、未、明、敵、軍、隊、列、上、に、突、き、進、出、し、敵、軍、隊、列、を、破、壊、す、る、事、業、を、遂、行、す、

遺、骨、の、状況

[] 兵、長、の、遺、骨、は、戦、線、上、に、遺、棄、さ、れ、た、事、を、知、り、敵、軍、の、遺、骨、を、二、月、三、日、中、隊、

隊、の、行、動、に、沿、つ、て、敵、軍、の、遺、骨、を、二、月、三、日、敵、軍、の、遺、骨、を、二、月、三、日、敵、軍、の、遺、骨、を、

二、月、三、日、未、明、敵、軍、隊、列、上、に、突、き、進、出、し、敵、軍、隊、列、を、破、壊、す、る、事、業、を、遂、行、す、

[] 敵、軍、の、遺、骨、は、戦、線、上、に、遺、棄、さ、れ、た、事、を、知、り、敵、軍、の、遺、骨、を、二、月、三、日、中、隊、

敵、軍、の、遺、骨、は、戦、線、上、に、遺、棄、さ、れ、た、事、を、知、り、敵、軍、の、遺、骨、を、二、月、三、日、中、隊、

敵、軍、の、遺、骨、は、戦、線、上、に、遺、棄、さ、れ、た、事、を、知、り、敵、軍、の、遺、骨、を、二、月、三、日、中、隊、

新居加隊 威才一五三一初隊

現住地



死者者六國隊

同筆品

或友

陸軍上等兵



13-14

現認證明書

籍地
所屬部隊

一 死亡年月日時 昭和二十年三月五日 三時五分

一 死亡場所 比島 陣死

一 死亡區分 頭部貫通即死

一 傷(病)名

一 死亡當時狀況

昭和二十年三月五日 比島 陣死 頭部貫通即死 現往所
現認者 階級 姓名

左 現認者

昭和二十二年三月七日

現認者

現往所 階級 姓名

死亡現認證明書

本籍地

所屬部隊(固有名) 船工(野補) (通稱)

徵集年 年 役種 現 兵種 船

官等級 死亡前後

氏名

生年月日

留守擔當者 本 籍地 在

氏名

死 年月日時及區分 昭和 20 年 12 月中旬 時 分 戰死

場 所 比島(七下)島陸軍病院

亡 傷(病)名 病名不明

受 年月日時 昭和 20 年 12 月 1 日 時 分

36-11

船名(船種)の状況	乗員(乗客)の状況	内地港湾出發 取地別 著年月日	勤務の概要
		<p>海防隊 海防隊 昭和二十九年一月二十三日 東京 丸之内 船場 同月 六日</p>	

右の通り現認したことを證明す

昭和二十九年一月二十三日

本署 〇〇〇〇

所屬部 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日
地方世話部

所屬部隊	固有	船組工兵第三十四隊	通稱	
	兵種	兵		
死亡年月日時	昭和20年2月15日午後10時20分	死亡場所	ルソン島ボソ	
死亡區分	戦死	傷病名		
發(受)病(傷)年月日	昭和 年 月 日	准士官以上 任官年月日		
死亡時	戦死	遺骨		
死亡状況	ルソン島ボソの戦局に於て敵機襲撃の集中射撃を受け、全身爆死に依り戦死	遺留品		
の状況		の有無		

右證明候也

昭和23年8月12日

所屬部隊
現住所
官等級氏名印

船組工兵第三十四隊

地方世話部長

殿

49-10

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所屬部隊

固有名称

船工兵隊

通称

一夫七口

年 職 種

現役

兵

工兵

官

前

死亡

死亡

氏名

生年月日

出生

死亡年月日時

昭和 20 年 2 月 15 日 午後 10 時 20 分

死亡場所

ルソン島ボソ

死亡區分

戦死

傷病名

殺(受)病(傷)年月日

昭和 年 月 日

准士官以上
任官年月日

死亡時刻

ルソン島ボソの戦いに於て敵の
砲撃に依り戦死

遺留品の有無

右證明候也

昭和 20 年 5 月 12 日

所屬部隊

船工兵隊

現任所

官等級氏名印

地方世話部長

殿

本籍地
留守在者

父

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

昭和 一七四二

所屬部隊 固有姓名

新編美第3軍服隊

通稱

昭一七四二

年 階級

留 役 理 後

種 兵

歩兵

級 等 官

前 亡 死

兵長

後 亡 死

名 氏

生年月日

年 月

日生

死亡年月日時

昭和 20年 2月 25日 午後 時 分

死亡場所

ルソン島

死亡區分

戦死

傷病名

發(受)病(傷)年月日

昭和 年 月 日

准士官以上
任官年月日

死亡時
の状況

ルソン島の戦いに於て敵の砲火に遭ひ戦死

遺留品の有無

右證明候也

昭和 23年 5月 12日

所屬部隊

新編美第3軍服隊

現任所

官等級氏名印

新編美第3軍服隊

証明者

地方世話部長

殿

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所屬部隊 固有者

船橋工兵隊 第四隊

通稱

暁一三七四二

年 級 職 役

理 役

船 長

官 卒 前

後 亡 死

名 氏

生 年 月 日

年

月

日

生

死亡年月日時

昭和 20 年 2 月 15 日 午後 前

時 分

死亡場所

ルソン島ボソ

死亡區分

戦 死

傷 病 名

發(受)病(傷)年月日

昭和 年 月 日

准士官以上
任官年月日

死亡時

の 状 況

ルソン島ボソの戦中に敵の砲火を受け、敵の砲火に倒れ、戦死

遺 留 品
の 有 無

右 證 明 候 也

昭和 23 年 5 月 12 日

証 明 者

地方世話部長

所屬部隊 船橋工兵隊 第四隊
現 任 官 卒 前

殿 佐 軍 兵 長

54-70